



本日の
プログラム

(夜間例会) 退任挨拶 高橋 徹 会長他

18:00～(於)札幌パークホテル

明日のホテルを目指して 札幌パークホテル総支配人 荒木田 康 氏

ホテル業界だけではないですが、この2年は今までに経験のしたことが無い事が頻繁におこりました。パンデミックの中、ホテルでは、毎日、お客様から宿泊・レストラン・宴会や会議の予約のキャンセルや延期のご連絡を受けることが業務の中心となっておりました。その結果、旅行者は途絶え、客室稼働は落ち込み、折からの外食の制限、特にアルコール提供は禁止、当然人数の多い宴会や結婚式の中止や延期など、事業継続そのものに危機感を感じた日が続きました。

当然、ホテルを含め関連会社で働くスタッフのマイノリティの低下を招き、この業界を離脱して行くスタッフも少なくありませんでした。世の中が、急速に変容して行く瞬間です。

このころ様々な業界で感染防止マニュアルが誕生したことと思います。ホテル業界で参考とした基準は、行政から発出される感染防止対策やホテル協会が推奨するガイドラインです。

特に飲食関連では、安心・安全に営業を継続する為、新たなルールや規定が織り込まれました。ホテルではご利用いただける為の対策を考え、試行錯誤しながら進めて参りました。テイクアウト商品の開発、今では日常的になっておりますが、オンラインミーティング商品の開発と提案が進みました。

パークホテルは昨年、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場としてお手伝いをさせていただきました。5月～12月まで累計延べ18万人余りの札幌市民の方が接種に来られました。今は4回目の接種が進んでおりますが、接種率の向上と併せて感染防止対策の普及と発展と共に、世の中では、まさに「緩和」トレンドが急速に進んできております。同時に、イベントや外食、宴会会食を開催しようという機運も更に高まってきております。

コロナは、この2年間で多くの価値観を変容させて来ましたし、またこれからも、物凄いスピードで世の中が変化してゆくのだらうと思います。

また、この予測のされにくいウイズコロナからポストコロナにかけては、目まぐるしく変化するフェーズに対しスピード感を以て、それに対応してゆかなければならないと考えます。

ホテル需要は徐々にですが確実に回復しつつあります。しかしながら、コロナ前に後戻りできないコトも沢山あると思います。世の中は、DXを背景にオンラインを覚えましたし、XRなどのバーチャル技術のうまみを吸収、食の分野では多くの人がテイクアウトの利便性を学習。更にコロナは「安心安全」「ウエルネス」「パーソナライズ」「サステイナブル」という志向性を強めて行きました。

パークホテルは考えます。

コロナ禍を経て、お客様ひとりひとりが何を求め、ここを集いの場とするのか。パークホテルはどのようなフェーズになろうとも、確りと時々の潮流とあるべき姿を捉え、ここに集われる方々と向き合いながら共感を重ねて行きたい思います。多様化の進む高度なニーズに応えるべく、個々のストーリーに向き合い、ゲストと共にシーンの創造を行い、ゲストと共に感動体験の出来るホテルへ進化させて行きたいと思います。

また、ホテルのある中島エリアの素晴らしいロケーション、豊富な域資源を活かした提供コンテンツを創造し、エリアの価値向上にも寄与して行きたいと考えます。

ここに来れば、何かに出会える、何か解決する、また偶然な出会いやコトがはじまる期待感のある場として行ければと思います。

是非、札幌東ロータリークラブの皆様にかかれましても、この中島エリアの価値向上に向けてお力添えをいただければと思います。



■本日のロータリーソング
奉仕の理想

2021～2022年度 国際ロータリーのテーマ
「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」
国際ロータリー会長：シエカール・メータ